



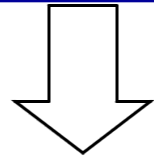
協働型学校評価

【到達目標】
思いやりを表現できる児童の育成

- 【重点目標】
- 学校でも家庭でも地域でも、場に応じた言葉遣いで話ができる子
 - 進んであいさつをする子
 - ・「よくできた」と自己評価する児童が60%超となる姿を目指す。

めざす教職員の姿

一人一人の子どもを大切にし、教育への情熱にあふれる教職員
・子供の心情を理解し共に歩む姿・指導力や人間性を高める姿・情熱に溢れ礼儀正しい姿



めざす児童の姿

- お 思いやりがある子
- り 理想を高くもつ子
- た たくましく生きる子
- て 手を取り合ってがんばる子

めざす学校の姿

- 子どもにとって：この学校で学んでよかったと実感できる学校
自分の力の高まりが感じられ、自分の存在が認められ、仲間とのふれあいが深まる学校に
- 保護者にとって：この学校に通わせてよかったと安心できる学校
我が子の成長を感じ、信頼できる教職員がいて、保護者同士のつながりを感じられる学校に
- 地域にとって：この学校があつてよかったと信頼される学校
地域に誇れる学校であり、自分たちが必要とされ、親しみを持って関われる学校に
- 教職員にとって：この学校に勤務してよかったと胸を張れる学校
仕事の手応えを感じ、子どもや保護者、地域の方々から信頼され、同僚との一体感を感じられる学校に

助け合い（豊かな心）

学び合い（確かな学び）

育ち合い（健やかな体）

助け合い、認め合い、高め合い

- ① 学級・学年・異年齢集団・学校全体での望ましい人間関係の形成
 - ・しっかり・じっくり振り返りカードを活用した一体感の育成
- ② 家庭・地域及び諸団体との連携強化
 - ・幼稚園、保育所、中学校、児童館、市民センター、大学、ボランティアサークル、介護老人保健施設などとの交流
- ③ 自分づくり教育の推進
 - ・学年別年間計画の作成、わくわく折立タイムや外部講師授業の実施



たてわり活動



折り鶴ボランティア



わくわく折立タイム



昔遊びの伝承



幼稚園との交流



中総体激励訪問

学ぶ楽しさや分かる喜びが味わえる指導・支援

- ① 基礎基本の確実な定着
 - ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、児童の「分かった・できた・やってみよう」を実現する授業づくり…市教委研究協力校
 - ・「読む」「書く」「聞く」「計算する」力の向上
 - ・体験活動の重視と読書活動の充実
- ② 教師の力量の向上（校内研究の充実、OJTによる人材育成）
 - ・研究授業、ミニ研修タイムの累積、若手教員の育成、外部講師招聘



計算練習



話し合い活動の充実



おはなしいちば



番山登山



校内研究の充実



教職員研修（実技）

進んで健康的な生活を送るための指導・支援

- ① 健康・安全、心の健康教育の充実
 - ・防災教育の充実、交通安全指導、不審者対応指導
 - ・「心のケア」体制の充実、性教育の充実、生活習慣の啓発、「ノーゲームデー」の取り組み
- ② 体力向上への積極的な取り組み
 - ・体育・保健学習の工夫、食育・保健教育の充実、外遊びの奨励
 - ・折っこカップと業間マラソンの取組の改善



避難訓練



交通教室



シェイクアウト訓練



業間マラソン



学校に泊まろう会（食育）



折小ソーラン

令和2年度スローガン 「つながろう みんなと！ つたえよう 感謝を！」 …「地域とともに歩み、信頼される学校」に向けた具体的方策

開かれた学校

- ・学校評議員会・学校関係者評価委員会の提言の実現
- ・学校からの積極的な情報公開と発信

地域連携・融合の強化

- ・地域人材・地域教材の積極的な活用
- ・地域と連携した教育活動と防災体制の強化

幼保小中の連携強化

- ・教員相互の授業参観、情報交換の充実
- ・幼・保・小・中交流学習の充実

安全教育の強化

- ・自らの安全を確保する能力の育成
- ・防災「管理」「組織」「教育」の徹底